

☆医療的ケア」必要な子に支援を 保育園など通えず、栃木県は新年度に予算計上へ

下野新聞 2月22日 朝刊

<http://www.shimotsuke.co.jp/category/life/welfare/childcare/news/20180222/2974501>

> 医療の進歩で、気管切開や胃ろうによってたんの吸引や経管栄養の管理などの「医療的ケア」を必要とする子どもが増えている。県によると、6歳以下だけで県内に154人。県は新年度当初予算案に支援事業費を計上し、短期入所施設の整備などを図る方針だ。一方でこのうち保育園に通うのは宇都宮、大田原両市の5人だけ。受け入れる園がほとんどないため、多くは保護者が付きっきりで子育てに当たっている。

宇都宮市下岡本町の私立保育園「つながるほいくえん釜井台」。園児の岡田拓海（おかだたくみ）君（5）は迎えに来た母絵莉香（えりか）さん（34）に駆け寄り、描いた飛行機を自慢げに見せた。気管切開しているので声を出すのは難しいが、走り回ったり、けんかしたりと元気いっぱいだ。

拓海君は双子の弟と超低体重児として生まれた。生後4カ月で気管切開し、1時間に1回程度たん吸引が必要となった。

◇ ◇

育児休業を取得していた絵莉香さんは兄弟が生後7カ月の頃、職場復帰に向けて同市に保育園入園を問い合わせた。しかし回答は冷たかった。「前例がないので受け入れはできない。自分で探してください」

衝撃を受けたが、逆に奮起し約3カ月で20以上の園に当たった末、つながるほいくえん釜井台にたどり着いた。「『社会から切り捨てられた』と思った」。絵莉香さんは振り返る。

山崎英明（やまざきひであき）園長（48）は「誰かが支援しないと」と手探りで態勢を整えた。看護師の雇用、保育士のたん吸引研修の受講、リスクへの対応…。行政の支援がないまま2016年4月、拓海君は弟とそろって入園を迎えることができた。

◇ ◇

医療的ケアが必要な子は、重い障害があって寝たきりの子から拓海君のような子まで、その状態は十人十色。拓海君は身体障害者手帳や療育手帳を持っておらず、障害福祉の支援がない。一方で受け入れる保育園もなく、公的な福祉のはざまに陥っていた。

同市保育課によると、市内の保育園に通う医療的ケアが必要な子は現在4人。拓海君は初のケースだった。同課は「受け入れは保育園の自助努力に依存している」と明かす。市は18年度、関係機関の協議の場を設け、支援体制づくりの検討を始める。

絵莉香さんは今、拓海君の就学が気掛かりだ。地元の学校に通わせたいが、また拒まれないか。付き添いを求められないか。自分が仕事を続けることは「エゴなのか」とも悩むが、一方で自らにこう言い聞かせる。「これからの障害児の親のためにも今、変えられることを変えていきたい」

看護師資格を持つ担任とお絵かきをする岡田拓海君。 →

他の担任らもたん吸引の研修を受けている

＝1月、宇都宮市下岡本町



保育園に入れにくい…

「医療的ケア」必要な子どもたち

医療の進歩で、気管切開や胃ろうによってたんの吸引や経管栄養の管理などの「医療的ケア」を必要とする子どもが増えている。県によると、6歳以下だけで県内に154人。県は新年度当初予算案に支援事業費を計上し、短期入所施設の整備などを図る方針だ。一方でこのうち保育園に通うのは宇都宮、大田原両市の5人だけ。受け入れる園がほとんどないため、多くは保護者が付きつきりで子育てに当たっている。

「前例ないので」

宇都宮市下岡本町の私立保育園「つながるほいくえん釜井台」。園児の岡田拓海君(5)は迎えに来た母絵莉香さん(34)に駆け寄り、描いた飛行機を自慢げに見せた。気管切開しているのを声を出すのは難しいが、走り回ったり、けんかしたりと元気いっぱいだ。拓海君は双子の弟と超低体重児として生まれた。生後4カ月で気管切開し、1時間に1回程度たん吸引が

必要となった。

育児休業を取得していた

絵莉香さんは兄弟が生後7カ月の頃、職場復帰に向けて同市に保育園入園を問い合わせた。しかし回答は冷たかった。「前例がないので受け入れはできない。自分で探してください」

衝撃を受けたが、逆に奮起し約3カ月で20以上の園に当たった末、つながるほいくえん釜井台にたどり着いた。「『社会から切り捨てられた』と思った」。絵莉香さんは振り返る。

山崎英明園長(48)は「誰かが支援しないと」と手探りで態勢を整えた。看護師の雇用、保育士のたん吸引の研修の受講、リスクへの対



県内6歳以下154人、通園5人のみ

受け入れ、行政支援なく

応…。行政の支援がないまま2016年4月、拓海君は弟とそろって入園を迎えることができた。

自助努力に依存

医療的ケアが必要な子どもは、重い障害があつて寝たきりの子から拓海君のよう

な子まで、その状態は十人十色。拓海君は身体障害者手帳や療育手帳を持っておらず、障害福祉の支援がない。一方で受け入れる保育園もなく、公的な福祉のほ



看護師資格を持つ担任とお絵かきをする岡田拓海君。他の担任らもたん吸引の研修を受けている＝1月、宇都宮市下岡本町

絵莉香さんは今、拓海君の就学が気掛かりだ。地元小学校に通わせたいが、まだ拒まれないか。付き添いを求められないか。自分が仕事を続けることは「エゴなのか」とも悩むが、一方で自らにこう言い聞かせる。「これからの障害児の親のためにも今、変えられることを変えていきたい」

公的福祉のはざま、悩む親

Q&A

医療的ケア 呼吸確保のための気管切開などで直接栄養を吸い込む経管栄養の管理などを行う。かつては医師、看護師しか行えなかったが、現在は研修を受けたホームヘルパーや教員、保育士らも行えるようになった。ケアが必要な子どもたち(医療的ケア児)は全国に約1万7千人いるとされ、新生児医療の進歩を背景に急増している。県内は20歳未満が361人。2016年の法改正により、支援の努力義務が自治体に課された。